

大会参加者は必ず本紙を熟読、またはチーム代表者が本紙内容をチームメンバー全員に周知していただいた上で参加願います。万一、下記内容が発生した場合、大会参加者は異議無くその対応に同意する条件で申込み/参加方お願いいたします。

大会開催場所の泉スポーツセンター体育室(第一/第二)は冷房設備が無く、状況を見ながら試合を一時中断し一斉換気をする等して熱中症対策を考慮しておりますが、参加者においては、こまめな水分補給や大会当日までの体調維持等、自己管理をお願いいたします。
本件は、参加者の安全管理を考慮した内容であり、皆様のご理解ご協力方お願いいたします。

【大会前日】

大会開催日の気温が35℃以上、暑さ指数(WBGT)が31℃以上と予報/発令される場合は事前に大会を中止とする場合があります。

暑さ指数(WBGT)は、環境省熱中症予防サイト横浜(神奈川)《WBGT 横浜で検索》に基づき大会可否を判断いたします。

* 大会前日までに大会が中止決定になった場合は、泉区バドミントン協会 HP に大会中止の旨を掲載いたします。(注)参加チーム代表者への電話連絡はしませんので、HP を注視願います。

【大会当日】

熱中症による罹患が発生した場合、大会を中止する場合があります。

* 午前の部において、大会中止になった場合は、午後の部の参加チーム代表者の方に協会から大会中止の旨を電話連絡いたします。万一つながらない場合にはメール連絡いたします。

なお、試合開始後に大会中止になった場合の参加費の返金はありませんので、ご了承ください。

○暑さ指数(WBGT)ごとの熱中症予防運動指針【参考】

気温(参考)	WBGT	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	外出はなるべく避ける。特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	外出時は炎天下を避ける。激しい運動や持久走は避け、 こまめに休憩をとり、水分・塩分を補給する。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	積極的に休憩をとり、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症の兆候に注意し、 運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (敵意水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、敵意水分・塩分を補給する。

※緊急連絡等に備え、大会開催前日まで泉区バドミントン協会 HP を注視願います。

以上